



猫の疼痛管理に力強い味方!

Now everybody can win.

動物用医薬品 劇 要指示

猫用非ステロイド系消炎鎮痛剤

メタカム®



0.05% 経口懸濁液猫

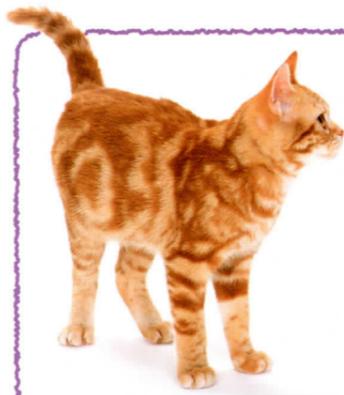


2サイズで使いやすい  
猫用 NSAID 経口懸濁液



Boehringer Ingelheim ベーリンガー・インゲルハイム  
ベトメディカ ジャパン株式会社

人と動物と環境の共生をになう  
共立製薬



## 猫の「痛み」うまく管理できていますか？

猫は「痛み」を隠すといわれています。それは猫が大好きなペットオーナーに心配をかけたくないからかもしれません。

猫の「痛み」を見つけて管理すること…。メタカム®は、猫の疼痛管理への新たなご提案です。

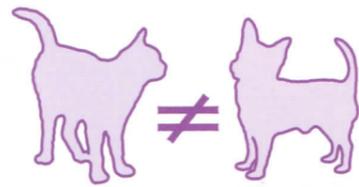
## 猫の「痛み」を見つけるのに大切なこと

「痛み」を発見し、疼痛管理を行うには、注意深く行動を観察し、身体検査を行うことが重要です。



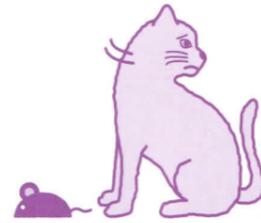
### 猫は「痛み」を隠す傾向があります

猫は外敵から身を守るなど本能的な行動から、「痛み」を隠すといわれています。



### 猫は“小さな犬”ではありません

犬と猫は行動学、代謝の仕組み、薬剤反応などにおいて、根本的な違いがありますので、各々にあった処置が必要です。



### 行動学的な変化に注目することが重要です

- ・じゃれなくなる
- ・グルーミング頻度の低下
- ・気性の変化
- ・ジャンプをしなくなる
- ・爪研ぎをしなくなる

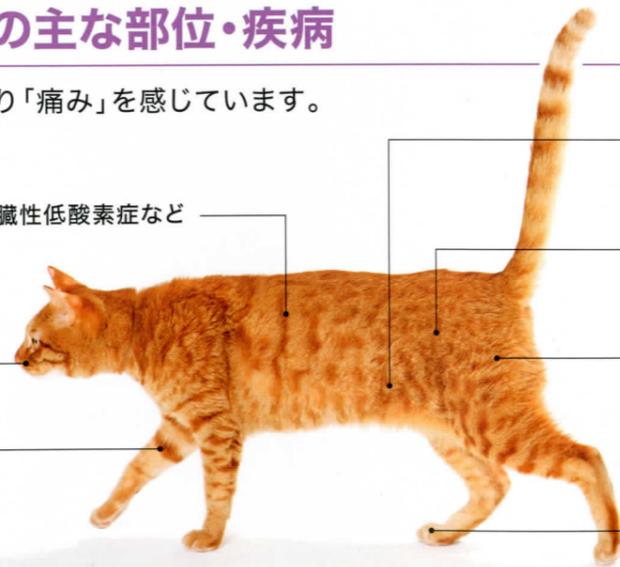
## 猫の「痛み」の主な部位・疾病

猫も、様々な要因により「痛み」を感じています。

【循環器】 血栓症・梗塞・心臓性低酸素症など

【歯】 歯肉・歯根など

【軟部組織】 けんか傷・膿瘍など



【周術期】 避妊・去勢など

【内臓】 膀胱・消化管など

【運動器】 関節・筋肉・腱・靭帯・椎間板・骨など

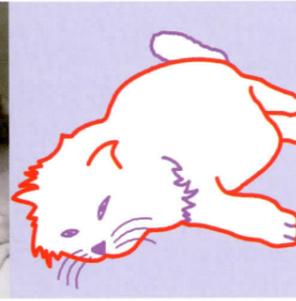
【皮膚】 爪床の感染症など

## 気づいて欲しい… 猫の「痛み」のサイン

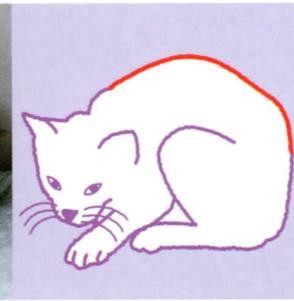
このような変化がみられる場合、猫は「痛み」を感じているのかもしれません。



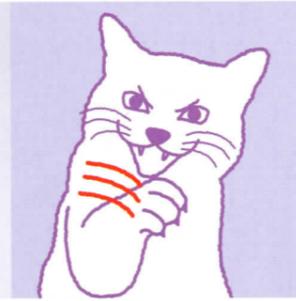
頭が下がり、耳が垂れ、目を細め吊り上げている  
図の線のように目のラインを結ぶとV字に見えます。



横になり、緊張またはじっとしている  
強い痛みである場合にみられ、耳は垂れ、目を細めています。



背中を丸め、足を伸ばしケージに背をくっつけて  
静かにしている  
耳が垂れ、目を細めており、腹部手術後にみられることがあります。



傷口や体を触られると、うなる、引っ掻く…  
うなる、引っ掻く、嘔みつく、なつかなくなるなどの変化は痛みを感じている場合があります。



## 適切な疼痛管理下では…



### 疼痛管理された状態

耳を前方(上方)へ立て、目は細めていません。  
目と目のラインを結ぶと水平に見えます。背中をわずかに丸め、リラックスして、前肢を折りたたんでいます。

\*Faces of Acute Pain", Sheilah A Robertson, College of Veterinary Medicine, University of Florida.  
© Copyright Boehringer Ingelheim Vetmedica 2010

## 猫の疼痛管理に力強い味方！

安全で使いやすい新しいタイプのNSAIDであるメタカム®0.05%経口懸濁液猫なら、より正確な疼痛管理※が可能となります。

※「運動器疾患に伴う急性の炎症及び疼痛の緩和」が効能・効果として認められています。



## メタカム® 0.05% 経口懸濁液猫

投薬により猫の疼痛管理を行うためには、様々な問題を解決する必要があります。体重に合わせて投与し、確実に服用させることや、一定期間服用させた場合の安全性も考慮しなければなりません。メタカム® 0.05% 経口懸濁液猫は優れた効果、安全性、簡便性により、これらの問題を解決し、獣医療における疼痛管理を力強くサポートします。



### ハチミツ風味

94%の猫で嗜好性に問題がなかったとの報告があります<sup>1)</sup>。



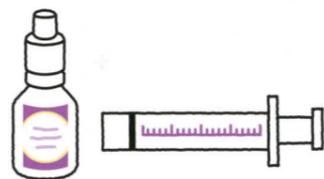
### 反復投与可能

1日1回、最長5日間の連続投与が可能です。



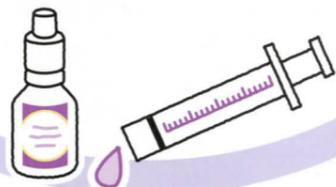
### 酸化による代謝

猫においても、半減期の延長がみられません。



### 投与量が正確/調節が可能

体重や状態に合わせて、より正確に投与できます。



### 液状



### 投与が簡単

食事に滴下し、投与することもできます。



## メタカム® ブランドは世界各国で高い評価を得ているNSAIDです。

動物用医薬品メタカム® 製品(有効成分:メロキシカム)は、選択的にシクロオキシゲナーゼ-2(COX-2)を阻害するNSAID(非ステロイド系消炎鎮痛剤)で、優れた消炎鎮痛効果を有しています。また、シクロオキシゲナーゼ-1(COX-1)阻害能が非常に弱いことが*in vivo*試験でも証明されています。1992年のヨーロッパでの承認・販売後、現在37カ国で愛用されており、今日まで信頼されるNSAIDとして高い評価を受けています。



### メタカム® ブランドのご紹介

- メタカム® 0.15% 経口懸濁液 (10mL / 32mL)
- メタカム® チュアブル錠 (1.0mg / 2.5mg)
- メタカム® 0.5% 注射液 (10mL)
- メタカム® 0.05% 経口懸濁液猫 (3mL / 15mL)



### 犬・猫での承認

注射液は犬・猫兼用で、経口懸濁液は犬・猫それぞれで承認されています。



### 安全性

犬における*in vivo*試験で、COX-2の選択的阻害とCOX-1の保持作用が証明されています<sup>2)</sup>。



### 半減期が約24時間

1日1回の投与で効果が24時間持続します。



### 剤型が豊富

あらゆる状況、ニーズにおいて、お使いいただけます。



### 優れた鎮痛効果

メタカム®は現在37カ国で使用され、有用性は高く評価されています。



### 反復投与可能

安心して毎日お使いいただけます。(メタカム® 0.5% 注射液は、術前の単回皮下投与です。)



### 同一主成分で安心

周術期および運動器疾患における疼痛管理を、同一主成分(メロキシカム)で行うことができます。

1) Long-term safety, efficacy and palatability of oral meloxicam at 0.01 - 0.03 mg/kg for treatment of osteoarthritic pain in cats. Gunew M.N. et al, *J.Feline.Med.Surg.*10(3), 235-41, 2010  
2) *In vivo* effects of meloxicam and aspirin on blood, gastric mucosal, and synovial fluid prostanoid synthesis in dogs. Jones C.J. et al, *Am. J. Vet. Res.*63(11), 1527-1531, 2002



### 投薬早見表

維持用量

1日1回体重1kg当たりメロキシカムとして0.05mgを基準量として経口的に投与する

体重 (kg)	メロキシカム 投与量 (mg)	メタカム®0.05% 経口懸濁液猫 投与量/日		ボトル1本分の投与可能日数	
		15mLボトル	3mLボトル	15mLボトル	3mLボトル
1	0.05	0.1 mL	3 滴	150 日	30 日
2	0.1	0.2 mL	6 滴	75 日	15 日
3	0.15	0.3 mL	9 滴	50 日	10 日
4	0.2	0.4 mL	12 滴	37 日	7.5 日
5	0.25	0.5 mL	15 滴	30 日	6 日
6	0.3	0.6 mL	18 滴	25 日	5 日
7	0.35	0.7 mL	21 滴	21 日	4 日
8	0.4	0.8 mL	24 滴	18 日	3.5 日
9	0.45	0.9 mL	27 滴	16 日	3 日
10	0.5	1.0 mL	30 滴	15 日	3 日

※1日目の投与量は上記維持用量の2倍量です。

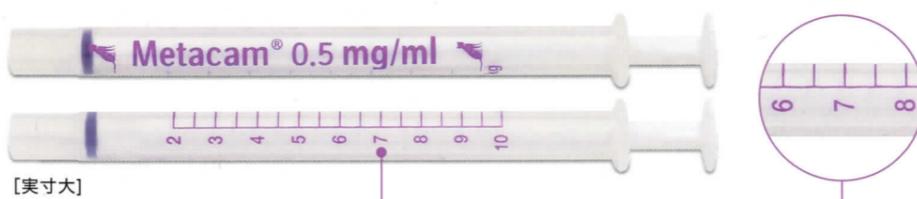
注意:使用前によく振ってください。



### 3mLと15mLの便利な2サイズ

3mLはそのままペットオーナーへ渡し、容量の多い15mLは院内にて使用するなど、サイズや状況によって使い分けが可能です。

### メタカム® 0.05% 経口懸濁液猫 専用シリンジ



体重目盛りなので必要量を簡単に計測することができます。

### 投与方法

通常1日1回、1日目は体重1kg当たりメロキシカムとして0.1mg、2日目以降は0.05mgを、必要に応じて添付の計量シリンジを用いて投与してください。



## メタカム® 0.05% 経口懸濁液猫 製品概要

成分及び分量	本品1mL中メロキシカム0.5mgを含有する。
効能又は効果	猫:運動器疾患に伴う急性の炎症及び疼痛の緩和。
用法及び用量	本剤を通常1日1回、1日目は体重1kg当たりメロキシカムとして0.1mg、2日目以降は同0.05mgを、必要に応じて添付の計量シリンジを用い経口的に投与する。本剤を反復投与する場合は5日間を限度とすること。
使用上の注意	<b>一般的注意</b> (1)本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。 (2)本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。 (3)本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
	<b>使用者に対する注意</b> (1)誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
	<b>猫に対する注意</b> <b>1.制限事項</b> (1)本剤は3ヶ月齢未満の幼若猫には極力投与を避けること。また、高齢で衰弱した猫には慎重に投与すること。 (2)妊娠或いは授乳中の猫に対する安全性は確認されていないため、投与しないこと。 (3)本剤は、消化管が過敏な状態にある猫、消化管に出血性の疾患が認められる猫、肝臓、心臓或いは腎臓の機能障害並びに出血性疾患が認められる猫、及び本剤に対し過敏症の猫には投与しないこと。 (4)本剤は、腎臓に悪影響を及ぼす場合があるので、脱水症状、貧血或いは低血圧症の猫には投与しないこと。 (5)本剤の投与前に腎機能検査をすることが望ましい。 <b>2.副作用</b> (1)副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。 (2)本剤の投与によりNSAID特有の食欲低下、嘔吐、下痢、潜血便及び元気消失が時に見られることがある。消化管への副作用はほとんどの場合一過性で投与を中止すれば消失するが、稀に重篤化することがある。これらの症状が続く場合は速やかに投薬を中止すること。 <b>3.相互作用</b> (1)利尿剤、抗凝固剤、アミノグリコシド系抗生物質及び高いタンパク結合率を有する物質との併用は毒性作用がみられることがある。ステロイド系及び非ステロイド系抗炎症剤、アミノグリコシド系抗生物質或いは抗凝固剤と併用しないこと。抗炎症剤を前投与している場合、副作用の発現或いは増強が生じることがあるので、本剤の投与前に最低24時間は間隔を空けること。但し、前投与した薬剤の特性に基づき、この期間を適宜延長すること。 <b>4.適用上の注意</b> (1)本剤を誤って過量投与した場合には、適切な処置を施すこと。
	<b>取扱い上の注意</b> (1)よく振り混ぜてから使用すること。 (2)使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。 (3)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
<b>保管上の注意</b> (1)小児の手の届かないところに保管すること。 (2)誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。 (3)本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。	
貯法	気密容器、室温保存
使用期限	ラベル・組箱に記載
包装	3mL / 15mLボトル

[製造販売元(輸入発売元)]



ベリンガー・インゲルハイム  
 ベトメディカ ジャパン株式会社  
 東京都品川区大崎2丁目1番1号

[発売元]



共立製薬株式会社  
 東京都千代田区九段南1-5-10

MET-042012